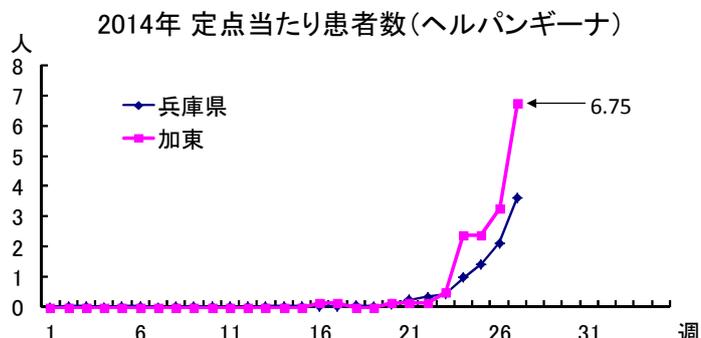


# 夏型感染症にご注意！

## ヘルパンギーナ（水疱性咽頭炎）が流行しています。

感染症発生動向調査において、第27週（6月30日～7月6日）の当所管内小児科1定点医療機関あたりの当該患者数が警報レベルに達しました（基準6.0人以上）。

発生動向は、兵庫県全体とほぼ同様の傾向を示しており、直近7週間の患者のうち0～5歳の患者が92%を占めています。



## ヘルパンギーナとは？

- ・原因：主としてコクサッキーウイルスなど
- ・感染経路：咳、くしゃみ等による飛沫感染、患者糞便を介しての経口・接触感染、
- ・潜伏期間：2～4日

患者の多くは4歳以下で1歳代が最も多く、突然の発熱に続いて咽頭粘膜の発赤が顕著となり、口腔内に小水疱が出現する夏かぜの一種です。多くは予後良好ですが、まれに無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することがあります。

また、症状回復後も2～4週間、ウイルスが便の中に排出されるため、二次感染に注意が必要です。



## 予防のポイント

- (1) 咳がある時はマスクを着用する等、咳エチケットに留意しましょう。
- (2) 流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- (3) タオル、ハンカチは個人専用の清潔なものを使用しましょう。できればペーパータオルの使用をお勧めします。
- (4) 特に乳幼児の世話をされる方は、患者の糞便を処理する時、使い捨ての手袋を使い、汚染された場所および周辺を消毒しましょう。
- (5) 消毒に使う薬品は、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター、ピューラックス等）を使用して下さい（使用の際は必ず説明書をよくご覧下さい）。

（参考）

厚生労働省ホームページ「わかりやすい感染症Q & A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou16/01.html>

兵庫県立健康科学研究所健康科学研究センター「兵庫県感染症情報」

<http://www.hyogo-iphes.jp/>